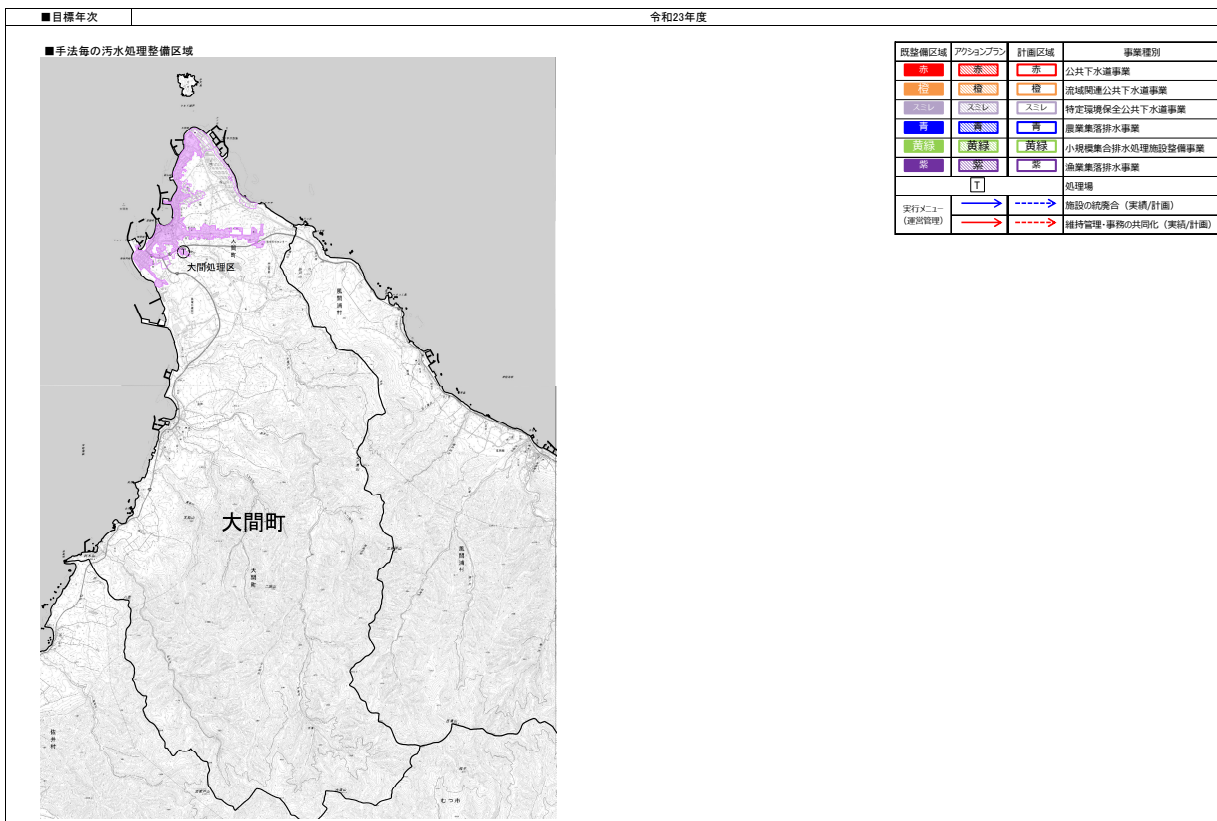


汚水処理整備区域図 目標年次



■整備計画

①課題の整理

課題1	大間処理区の処理場が老朽化による更新費用増加が懸念される。
課題2	大間処理区の既設マンホールポンプ老朽化のため、補修による投資増加が懸念される。
課題3	下水道整備による水洗化率向上に向けて、住民に対して積極的に働きかけの機会を設ける必要がある。
課題4	下水道受益者負担金制度の理解及び下水道使用料の未納がないよう個々を訪問し説明する必要がある。

②スケジュール

計画区分	事業	事業内容	12	17	22	27
			令和8年	令和13年	令和18年	令和23年
実行メニュー (運営管理)	共通	大間処理区の未整備地区の整備完了				
	共通	大間処理区の処理場施設の更新完了				

③目標、概算事業費等

		全体	公共下水道	集落排水施設・コミブラ	浄化槽		備考
					個人設置型	市町村設置型	
整備手法	R13	整備人口(人)	3,616	2,631	985		
		整備面積(集合処理分)(ha)	114	114			
		日最大汚水量(m ³ /日)	1,100	1,100			
	計画汚泥量(t-DS/日)	0.1	0.1				
	R23	整備人口(人)	2,842	1,913	929		
		整備面積(集合処理分)(ha)	114	114			
日最大汚水量(m ³ /日)		1,200	1,200				
	計画汚泥量(t-DS/日)	0.1	0.1				
ベンチマーク(指標)	経費回収率(%)	—	18.5				
		0					
		0					
概算事業費	総建設事業費(百万円)	5,221	5,221	0			
	年間維持管理費(百万円/年)	41	41	0			
実施メニュー	施設の統廃合	-					
	処理施設のダウンサイジング	-					
	維持管理・事務の共同化	-					
	省エネ・再エネに向けた取り組み	-					
	その他()	-					